

教育内容	基礎分野 科学的思考の基盤	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	論理学 I	単位 1単位	科学的思考の基盤として、論理的に思考し文章表現できる能力を養う。			
担当講師	遠藤 正水 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	イントロダクション	「論理的」ということ	講義	遠藤 正水	基礎分野 心理学 人間関係論演習
	2	「だから」の使い方①	演繹と帰納	講義・演習		専門基礎分野
	3	「だから」の使い方②	帰納的推論の注意点	講義・演習		専門分野
	4	文章作成のルール	レポートなどの文章の構造	講義・演習		看護学概論 看護の思考過程 基礎統合演習
	5	論の流れと文章作成①	起承転結を意識した文章を作る	講義・演習		看護研究 成人援助論 I 成人援助論 II
	6	論の流れと文章作成②	起承転結を意識した文章を作る	講義・演習		成人援助論 III 成人援助論 IV 成人援助論 V
	7	まとめ	まとめ	講義・演習		老年援助論 III 小児援助論 III 母性援助論 III 精神援助論 III 訪問看護の看護過程 看護の統合と実践
	8	終講試験	筆記試験	試験(45分)		
評価方法	筆記試験(3割) レポート(7割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	看護学生が身につけたい 論理的に書く・読むスキル 医学書院					

教育内容	基礎分野 科学的思考の基盤	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	論理学Ⅱ	単位 1単位	科学的思考の基盤として、論文構成を学び看護者として論理的に思考するとともに判断能力・問題解決能力を身につける			
担当講師	遠藤 正水 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	「調べて伝える」ということ	研究の意味、目的、問いを問うこと	講義	遠藤 正水	基礎分野 心理学 人間関係論演習
	2	「問い」の作り方	問いを作り、根拠づける仕方 引用の仕方	講義		専門基礎分野
	3	レポートの構造	研究計画書、研究報告書の形式	講義		専門分野
	4	レポートの書き方①	これまでの講義を踏まえた実践	講義・演習		看護学概論 看護の思考過程
	5	レポートの書き方②	これまでの講義を踏まえた実践	講義・演習		看護研究 看護研究
	6	レポートの書き方③	これまでの講義を踏まえた実践	講義・演習		成人援助論Ⅰ 成人援助論Ⅱ 成人援助論Ⅲ 成人援助論Ⅳ 成人援助論Ⅴ 老年援助論Ⅲ 小児援助論Ⅲ 母性援助論Ⅲ 精神援助論Ⅲ
	7	まとめ	まとめ	講義・演習		訪問看護の看護過程 看護の統合と実践
	8	終講試験	筆記試験	試験(45分)		
評価方法	筆記試験(3割) レポート(7割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	看護学生が身につけたい 論理的に書く・読むスキル 医学書院 系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院					

教育内容	基礎分野 科学的思考の基盤	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	情報科学	単位 1単位	看護の分野で統計的なものの見方および考え方の基本を身につける 文献検索、情報処理操作技術を学ぶ			
担当講師	荒尾 雅一 病院事務職:10年以上 高島 真美 教育経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
教育目標	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	ガイダンス	統計を学ぶ意義と講義の進め方 WEB上のデータ利用方法 エクセル操作の基礎	講義	荒尾 雅一	基礎分野 論理学Ⅰ 論理学Ⅱ 心理学 人間工学
	2	統計について	統計からビッグデータへ 平均と標準偏差・分散	講義	荒尾 雅一	専門基礎分野
	3	t検定(1)	t検定の考え方 前回講義の手法を使った発表	講義 演習・発表	荒尾 雅一	専門分野 看護学概論 看護研究 看護管理・看護倫理
	4	ベイズ統計	ベイズ統計とは 前回講義の手法を使った発表 宿題	講義 演習・発表	荒尾 雅一	
	5	t検定(2)	F検定後のt検定 宿題の回答説明	講義 演習	荒尾 雅一	
	6	$\chi^2$ 検定	$\chi^2$ 検定の考え方 前回講義の手法を使った発表	講義 演習・発表	荒尾 雅一	
	7	相関分析	相関・回帰の考え方 前回講義の手法を使った発表	講義 演習・発表	荒尾 雅一	
	8	看護と統計	これまでの講義のまとめ	講義(45分) 演習・発表	荒尾 雅一	
	9	情報と情報化社会	情報の定義と特徴 情報化社会	講義	高島 真美	
	10	保健医療における情報	保健医療と情報	講義	高島 真美	
	11		看護と情報 医療における情報システム			
	12	情報と倫理	情報倫理と医療倫理 患者の権利と情報 個人情報の保護 コンピューターリテラシーとセキュリティ	講義	高島 真美	
	13	情報処理	既存の情報収集	講義	高島 真美	
	14	プレゼンテーション能力	プレゼンテーションに必要な能力とは プレゼンテーションの具体的方法	講義	高島 真美	
	15		プレゼンテーションの実際	演習	高島 真美	
	16	終講試験	筆記試験	試験(45分)		
評価方法	荒尾講師50点(筆記試験(20点)、発表(20点)、平常点(10点)。欠席は1回につき2点減点。)、高島講師50点 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院 医療・看護のためのやさしい統計学 基礎編 東京図書					

教育内容	基礎分野 科学的思考の基盤	時期 2年次	科目のねらい				
授業科目	マネジメント論	単位 1単位	健全な医療は健全な経営および組織マネジメントから生まれる 社会における経済、経営のしくみを理解し、科学的な経営管理およびマネジメントについて学ぶ				
担当講師	中川 万喜子 教育経験:10年以上	時間数 15時間					
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる						
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる						
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目	
	1	経済のしくみ①	経済の3主体 需要と供給 市場の失敗	市場の仕組み 価格の自動調整メカニズム	講義	中川 万喜子	基礎分野 教育学
	2	経済の仕組み②	政府の役割 社会保障 医療費問題		講義		専門基礎分野 保健医療論 社会福祉 I
	3	経営のしくみ①	組織のマネジメント(1) 組織とは何か 動機づけ理論 目標管理		講義		専門分野 看護学概論 看護管理・看護倫理 看護の統合と実践
	4	経営の仕組み②	自己SWOT分析をやってみよう		講義		
	5	経営の仕組み③	組織のマネジメント(2) グループダイナミクス サービス経営 サービス特有の性質を学ぶことにより、いかに サービスが経営に結びついているかを考える	組織改革	講義		
	6	経営の仕組み④	対人関係のマネジメント コミュニケーション 品質の評価と管理(1)		講義		
	7	経営の仕組み⑤	品質の評価と管理(2) 医療の質の評価 医療の安全対策 まとめ		講義		
	8	終講試験	筆記試験	試験(45分)			
評価方法	筆記試験(7割) レポート(3割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする						
テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します						

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	心理学	単位 1単位	人間の三側面の一面としての心の機能について科学的に学ぶとともに、自己理解及び他者理解に活用する			
担当講師	岩原 昭彦 教育経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	1 人々との良好な人間関係を築き、信頼関係と協働的な関係を形成することで自己決定を支援することができる					
	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協働することによって支援することができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	はじめに	心とはなにか 心理学を学ぶ意義 対人援助と心理学	講義	岩原 昭彦	基礎分野 人間工学 人間関係論演習 エンパワメント演習 I エンパワメント演習 II
	2	感覚と知覚	外界を理解する心のはたらき 感覚のしくみとはたらき 知覚のしくみとはたらき	講義		専門基礎分野 生化学 看護形態機能学 I
	3	記憶	記憶のメカニズム 感覚・短期記憶と作業記憶 長期記憶と忘却	講義		専門分野 看護学概論 成人看護学概論 老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論 精神看護学概論
	4	思考・言語・知能	思考とは:推論 言葉とコミュニケーション 知能とは	講義		地域・在宅看護概論 医療安全
	5	学習	学習とは:学習方法	講義		災害看護・国際看護
	6	感情と動機づけ	感情とは 感情のメカニズム 動機づけ	講義		
	7	性格とパーソナリティ	性格の理論	講義		
	8		性格の測定			
	9	社会と集団	対人的認知 態度と積極的コミュニケーション 集団とリーダーシップ	講義		
	10	発達	発達とは	講義		
	11		乳幼児の発達 児童・青年の発達 成人・高齢者の発達			
	12		心理臨床			心の適応と不適応 心理療法とは
	13	医療・看護と心理	対人援助職	講義		
	14		患者の心理 医療・看護職の心のケア			講義
	15	まとめ		講義(45分)		
16	終講試験	筆記試験	試験(45分)			
評価方法	筆記試験(7割) レポート(3割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	人間工学	単位 1単位	人間と機器、環境との関係をヒトの形態、心理、生理学的特性から捉え、看護技術に関連する人間工学の基礎を学ぶ			
担当講師	門脇 達彦 教育経験:10年以上	時間数 20時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	6 看護実践を振り返り新しい知見を得て、人々の健康と豊かな生活に寄与することができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1 2	力学を人体に適用する	体位変換に役立つトルクの知識 安定・不安定 体位変換の方法とその根拠	講義	門脇 達彦	基礎分野 心理学
	3 4	フィジカルアセスメントと物理学	知っておきたい圧力の基礎知識 すべての基本は空気の圧力 血圧に関する知識 体温計の温度表示 酸素解離曲線の意味	講義		専門基礎分野 看護形態機能学Ⅰ 看護形態機能学Ⅱ 看護形態機能学Ⅲ 病態と治療Ⅰ 病態と治療Ⅲ
	5 6	処置に関する物理学	ネプライザの原理 低圧持続吸引の原理 酸素ポンベの原理	講義		
	7	酸・アルカリとPHの関係	水素イオン濃度 濃度の表示と物質の溶け方 皮下注射や人工透析の浸透圧の知識 点滴や輸血、経管栄養の落下速度 ベルヌーイの定理	講義		専門分野 看護学概論 共通看護技術Ⅱ 共通看護技術Ⅲ フィジカルアセスメント 経過に応じた基本技術Ⅰ 経過に応じた基本技術Ⅱ 成人援助論Ⅲ 成人援助論Ⅳ 成人援助論Ⅴ 医療安全
	8	看護と心電図	看護における電気 心電図とは	講義		
	9	人の感覚器と物理学	物の見える仕組み ファイバースコープの原理 聴力と音波	講義		
	10	人間工学の基礎まとめ	講義の振り返りとまとめ	講義(45分)		
	11	終講試験	筆記試験	試験(45分)		
	評価方法	筆記試験(8割) レポート(2割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする				
	テキスト	系統看護学講座 基礎分野 物理学 医学書院 完全版 ベッドサイドを科学する 看護に生かす物理学 学研メディカル				

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 3年次	科目のねらい				
授業科目	哲学	単位 1単位	哲学の考え方を学ぶことによって、人や社会について、またその中での看護について、あらためて考えてみるができるようになる。ここでいう“あらためて考えてみる”とは、普段の見方から少し離れてものごとをみることや、「常識」に頼らず自分で考えること、論理的・批判的に考えることを含む				
担当講師	小林 道太郎 教育経験:10年以上	時間数 15時間					
教育目標	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる						
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる						
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる						
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目	
	1	哲学とは何をする事か	哲学の起源 批判的に考えること: ソクラテスの探求から	講義	小林 道太郎	基礎分野 心理学 人間関係論演習 論理学 I 論理学 II 文化社会学	
	2	クリティカルシンキング	論理と対話 帰納的推論で注意すべきこと	講義			
	3	生活世界	自然科学的な見方とその難点 基盤としての生活世界について考えるために	講義			
	4	現象学	「事象そのものへ!」: 経験をみること 現象学と医療・看護	講義			専門基礎分野
	5	人とかかわること	文化と価値の多様性 人とかかわるときの先入見や差別	講義			専門分野 看護学概論 成人看護学概論 老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論 精神看護学概論
	6	人生の物語	他の人を理解すること 自分の行為・人生の物語的理解	講義			地域・在宅看護概論 看護管理・看護倫理 看護の統合と実践
	7	生と死	人にとって死ぬとはどういうことか 絆の継続	講義			
	8	よく生きること		講義(45分)			
評価方法	レポート(6割) 授業時の提出物(4割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする						
テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します						

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	文化社会学	単位 1単位	保健医療文化の比較や保健医療社会学の理論・方法を踏まえて、健康・病気と社会との関係、保健医療における行為・関係・組織・制度を学び、さらには、保健医療の現代的課題を取り上げる			
担当講師	土肥 豊 教育経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	社会学とは	何を扱う学問か 健康、病気、医療への視座	講義	土肥 豊	基礎分野 心理学 人間工学 人間関係論演習  専門基礎分野 保健医療論 社会福祉 I 社会福祉 II  専門分野 I 看護学概論 共通看護技術 I 家族看護論 成人看護学概論 老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論 精神看護学概論 地域・在宅看護概論 地域と看護 看護管理・看護倫理 看護の統合と実践 災害看護・国際看護
	2	基礎概念と方法	社会学の基礎概念、社会的視点とモデル	講義		
	3	保健医療と社会学	医療と社会学の接点、社会調査の理論と技法	講義		
	4	健康・病気と社会(1)	健康・病気・ストレスの新しい見方ととらえ方	講義		
	5	健康・病気と社会(2)	社会格差と平等、健康・病気の社会格差	講義		
	6	健康・病気と社会(3)	「働き方」「働かせ方」と健康・病気	講義		
	7	健康と病気	健康行動と病気行動、病経験、病の語り	講義		
	8	患者-医療者関係	患者-医療者関係とコミュニケーション	講義		
	9	保健医療の専門職	保健医療職種、専門職論、看護職論の現在	講義		
	10	ジェンダーと保健医療	性とジェンダー、保健医療からみた結婚と家族	講義		
	11	地域社会と保健医療	コミュニティと地域、ノーマライゼーションと地域	講義		
	12	保健医療制度	福祉国家と社会保障制度 わが国の保健医療制度	講義		
	13	保健医療の現代的変化	保健医療システムの変容、 わが国の医療システムの課題	講義		
	14	保健医療の現代的課題	ケアと医療、ケア論、ケアと医療の新たな 関係性に向けて	講義		
	15	社会学における健康、病気、医療 のまとめ	これまでの授業のまとめ	講義(45分)		
16	終講試験	筆記試験	試験(45分)			
評価方法	筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院 系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院					



教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	教育学	単位 1単位	教育の機能と本質を学び、主体的に学習するための自己の姿勢を養うことを目指す			
担当講師	西 卓男 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	教育とは	教育の意義・目的・方法 教育と看護 教育と発達の関係 学習理論・教育原理	講義	西 卓男	基礎分野 心理学 人間工学 人間関係論演習
	2	自己表現①	簡単な工作(エッグドロップ)を通じて相手に自分の意志をつたえる	講義 演習		専門基礎分野 生化学
	3	自己表現②	簡単な工作(エッグドロップ)を通じて相手に自分の意志をつたえる	講義 演習		看護形態機能学 I 看護形態機能学 II 看護形態機能学 III
	4	コミュニケーションについて	伝言ゲームなどの簡単な方法でコミュニケーション手段を学ぶ	講義 演習		専門分野 看護学概論
	5	グループワークについて	簡単な共同作業(マシュマロチャレンジ)を通して協調性を学ぶ	講義 グループワーク		共通看護技術 I 地域・在宅看護概論 成人看護学概論
	6	情報伝達の手段について	ピクトグラムなど一般に使われている案内記号について学ぶ	講義 演習		成人援助論 I 成人援助論 III 成人援助論 VI
	7	食育	自分たちが普段食べている食材について学ぶ	講義		小児看護学概論 母性看護学概論
8	終講試験	筆記試験	試験(45分)			
評価方法	筆記試験(5割) レポート(5割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	人間関係論演習	単位 1単位	人間関係の基礎理論やコミュニケーション、カウンセリング技法を学習する 看護師となる学生の自己肯定観を高める			
担当講師	堀田 千絵 教育経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	コミュニケーション論を学ぶ意義	授業オリエンテーション 望ましい人間関係を築くことの重要性	講義・演習	堀田 千絵	基礎分野 心理学 哲学 エンパワメント演習 I エンパワメント演習 II
	2 5 6	コミュニケーション技法 I	コミュニケーションとは 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション	講義・演習		
	7 5 12	コミュニケーション技法 II	自己変容のためのアプローチ① ドールロケーションテストの活用から考える	講義・演習		専門基礎分野
	13	コミュニケーション技法 III	自己変容のためのアプローチ② カウンセリングマインドを身につける	講義・演習		専門分野 看護学概論 共通看護技術 I 看護の思考過程 成人看護学概論 精神看護学概論 精神援助論 II
	14	コミュニケーション技法 IV	自己変容のためのアプローチ③ 傾聴・共感の実践と客観的評価(POMSの活用)	講義・演習		
	15	コミュニケーション技法 V	自己変容のためのアプローチ④ 行動療法の考え方の活用	講義・演習		
評価方法	レポート、授業時の提出物(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9条によるものとする					
テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	基礎英語	単位 1単位	看護と医療に関する英文を読んで、内容を把握する力を養成することを目指す テキスト以外にもプリントで、看護と医療に関する今日的な話題の英文を読む			
担当講師	黒瀬 勉 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	看護師とは何か	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義	黒瀬 勉	基礎分野 医療英語
	2	看護の歴史	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		
	3	患者と看護師の関係	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		専門基礎分野
	4	患者とのコミュニケーション	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		
	5	異文化の患者とのコミュニケーション	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		専門分野 災害看護・国際看護
	6	医師と看護師との関係	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		
	7	関連のある専門職の人たち	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		
	8	終講試験	筆記試験			
評価方法	筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	English for Nursing Students 看護のための総合英語					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	医療英語	単位 1単位	看護場面や日常に必要な英会話に焦点を置き、口頭での会話技術を学び、総合的な英会話能力を高める			
担当講師	海仲由美 他)フィリピン看護師 及び英語講師	時間数 30時間				
教育目標	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	看護師としての自己紹介 テキスト Lesson 1	看護師として患者や家族へ英語でのあいさつの仕方 Mini test 1	講義	各グループ毎	基礎分野 基礎英語
	2	症状・兆候の観察 テキスト Lesson 2	症状や兆候の英単語 Mini test 2	講義		専門基礎分野
	3	院内の案内 テキスト Lesson 3	診察室や検査室、病棟などを案内 Mini test 3	講義		
	4	アセスメント(一般情報) テキスト Lesson 4	患者の一般情報を収集 Mini test 4	講義		専門分野 災害看護・国際看護
	5	アセスメント(患者) テキスト Lesson 5	患者の症状や兆候の訴え方、聞き取り方、返答の仕方 Mini test 5	講義		
	6	アセスメント(痛み) テキスト Lesson 6	ペインスケールを使用した英語での痛みの評価の方法 Mini test 6	講義		
	7	患者の観察 テキスト Lesson 7	現病歴、既往歴を英語で聴取 Mini test 7	講義		
	8	道の案内 テキスト Lesson 8	院外で道に迷って困っている方に病院までの行き方 Mini test 8	講義		
	9	療養上の指導 テキスト Lesson 9	外傷に対する患部のケアについて英語で指導する方法 Mini test 9	講義		
	10	バイタルサイン測定 テキスト Lesson 10	英語でバイタルサイン測定 Mini test 10	講義		
	11	問診聴取 テキスト Lesson 11	院外で道に迷って困っている方に病院までの行き方の説明 Mini test 11	講義		
	12	問診聴取(RoS) テキスト Lesson 12	レビューシステムの聴取 Mini test 12	講義		
	13	応急処置/BLS テキスト Lesson 13	応急処置/BLSの英語での対応方法 Mini test 13	講義		
	14	入退院案内1 テキスト Lesson 14	入退院における患者対応 Mini test 14	講義		
15	入退院案内2 テキスト Lesson 15	入退院における患者対応 Mini test 15	講義			
評価方法	毎回実施する小テスト、出席状況で評価する					
テキスト	English For Nurses Lesson 1- 15 (HLCA Original Textbook)					
備考	学生の習熟度レベルや必要に応じて、テキスト以外の教材を取り入れるため、上記スケジュールは変更することがあります					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	情報倫理	単位 1単位	インターネットがいつでも使える生活になり、自分で考えるよりもインターネットで調べた方が素早く楽に答えを得られるようになった。しかし、何事においても、インターネットで調べることができないと行動できない、判断できない、では、他者に対して責任ある行動をできなくなる恐れがある。本科目では、行動や判断の指針となる情報を知り、科学的かつ倫理も含めた使い方、そして情報を適切に扱うための機器についての技術を習得する。			
担当講師	松本 寿一 経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	6 看護実践を振り返り新しい知見を得て、人々の健康と豊かな生活に寄与することができる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	情報と科学	計算機の技術を含め、情報や科学を理解する	講義	松本 寿一	基礎分野 情報科学
	2	情報と倫理	インターネットを中心に、情報利用の是非を考える	講義		
	3	情報とセキュリティ	インターネットを含め、情報の安全性を理解する	講義		専門基礎分野
	4	計算機基礎	計算機を効率よく操作する基礎技術を獲得する 小テスト:1回から3回について	演習		
	5	表計算基礎1	今後に必要な表計算の基礎を知る	演習		
	6	表計算基礎2	様々な計算技法を知る	演習		専門分野 看護学概論 看護研究
	7	表計算基礎3	データをグラフ化する技法を知る	演習		
	8	まとめ		演習		
評価方法	小テスト:4割、表計算:6割 但し、受験資格は履修規定、第9条によるものとする					
テキスト	指定テキストはなし。講義レジュメ・教材資料は別途配布します。					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	エンパワメント演習 I	単位 1単位	看護師となる学生の自己肯定観を高め、専門職者となるためのアイデンティティを養う			
担当講師	堀田 千絵 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	自己の役割を考える	自分の目標と自己の役割を明確にする	講義・演習	堀田 千絵	基礎分野 心理学 哲学 人間関係論演習 エンパワメント演習 II  専門基礎分野  専門分野 看護学概論 共通看護技術 I 看護の思考過程 成人看護学概論 精神看護学概論 精神援助論 II
	2	自己を客観視する	実習に向けて、演習を通して自己を客観視する	講義・演習		
	3	自己を客観視する	自分の課題を明確にして計画的に行動する	講義・演習		
	4	自己を肯定できる	自分の目標について考える	講義・演習		
	5	メンバーシップ	自己肯定でき、今後の自己課題を明確にする	講義・演習		
	6	メンバーシップ	実習におけるメンバーシップを振り返る	講義・演習		
	7	自己のキャリア形成	これまでの自己の傾向と課題、目標を再確認する	講義・演習		
	8	まとめ		講義・演習		
評価方法	レポート、授業時の提出物(10割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 3年次	科目のねらい			
授業科目	エンパワメント演習Ⅱ	単位 1単位	看護師となる学生の自己肯定観を高め、職業意識を持つとともに、対人援助職となる者として自分で自分をケアする能力を習得する			
担当講師	堀田 千絵 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	目標に対する取り組み	3年次の目標と自己の課題に対する取り組み	講義・演習	堀田 千絵	基礎分野 心理学 哲学 人間関係論演習 エンパワメント演習Ⅰ
	2					
	3	自己を客観視する	自己を客観視して、自己肯定感を高め 最終学年として、看護職者になる意識をもつ	講義・演習		
	4					
	5					
	6	看護職者としての自己を考える	対人援助職になるものとして、自分をケアする方法	講義・演習		専門基礎分野
	7	自己のキャリア形成	キャリア形成に向けて、自己の傾向と課題を明確する	講義・演習		専門分野
	8	まとめ		講義・演習		看護学概論 看護援助技術Ⅰ 看護の思考過程 成人看護学概論 精神看護学概論 精神援助論Ⅱ
評価方法	レポート、授業時の提出物(10割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します					